

練馬区立リサイクルセンター

ゆずりは

vol.78

OCT. NOV. 2025

ねりま 環境・リサイクル情報誌 発行年月：令和7年(2025年)9月
発行：練馬区エコみらいプロジェクト、アクティオ・練馬リサイクル共同事業体
練馬区立リサイクルセンターホームページ[https://www.nerima-rc.jp/]

10月は「食品ロス削減月間」!

1 FOOD DRIVE

2 3

発表! フードドライブ ランキング

食品ロス削減や資源の有効活用を目指し
リサイクルセンターでフードドライブ通年受付中!

10月は「食品ロス削減月間」です。食品ロスは本来食べられるのに捨てられている食品のこと。練馬区が令和5年度に実施したごみの排出実態調査では、家庭から出る可燃ごみのうち33.4%が食品などの生ごみであり、そのうち4.3%は利用されずに捨てられてしまった食品(未利用食品)でした。1年間の可燃ごみに換算すると約4,700トン(令和6年度)が未利用のまま捨てられていることになります。

食品ロスの削減や資源の有効活用を目指して、練馬区立リサイクルセンターでは、食材を残さず使う「丸ごとクッキング講座」や保存期間が延びる「干し野菜講座」などを企画。平成29年度からはイベント内での「フードドライブ」も開始しました。開封しないままご家庭で眠っている食品を持ち寄り、福祉施設や子ども食堂などに提供する活動を推進。令和5年7月からはフードドライブ受取窓口を常設し、通年で食品の受け取りを行っています。

フードドライブ 実施中!

イベント内でのフードドライブ

フードドライブの舞台裏を大調査!
どんなものがどのくらい回収されている?

リサイクルセンターの窓口には、「いただきものですが、食べることができないので…」「非常食を買いすぎてしまい…」など、多くの皆さまが立ち寄ってくださいます。その一方で、「何を持ち寄ればいいのか分からない」「どんなものが、どのくらい提供されているのか知りたい」というお問い合わせもいただいています。

そこで、フードドライブの舞台裏を大調査! フードドライブに一番多くご提供いただいている食品は缶詰なのか? レトルト食品なのか? そして、その回収量は? 本邦初公開! 令和6年度フードドライブの全貌をご紹介します。



WE♥練馬

区民の皆さまに活用いただける事業をご紹介します。

みどりを愉しむ

ねりま流ガーデンライフ
～みどり豊かな住まいづくりを応援します!～

ご自宅のみどりのお困りごとは「練馬区協力店」へご相談ください!

練馬区協力店は、ご自宅のみどりの管理方法などを気軽に相談できる園芸店です。お困りごとのある方、新たな緑化をご検討の方は、ぜひご相談ください。 [区HPはこちら](#)

相談分野	店名・住所・連絡先など
園芸相談	内田園芸 (平和台1-23-5) 渋谷園芸 (豊玉中4-11-22)
園芸相談 造園工事	庭樹園 (高松6-3-21) ☎03-3996-8211 ※ご相談希望の方は事前にご連絡ください。 練馬環境造園協会事務局 (樹田中造園) ☎03-3925-8187 ※ご相談内容をうかがい、会員事業者を紹介します。
造園工事	庭木の 手入れ
	練馬造園組合 ※区HP掲載の会員事業者に直接ご相談ください。

ご自宅の道路沿いを新たに緑化する費用の一部を助成します

小規模な緑化でも利用できる助成メニューもあります。詳しい助成要件などは区HPをご覧ください。 [区HPはこちら](#)

相談分野	主な助成要件	助成額(令和7年度)
中高木緑化	高さ1.5m以上の樹木を設置	12,000円/本 ※高さ2m以上は20,000円/本
プランター緑化	敷地面積150㎡未満の住宅などご容量50ℓ以上のプランターを設置	5,000円/個
生け垣化	道路に面した部分に1m以上設置	12,000円/㎡
低木等緑化	緑化部分が1㎡以上道路に面していて、緑化面積が1㎡以上	9,000円/㎡
緑化に伴うブロック塀撤去	助成対象となる緑化に伴う撤去	11,000円/㎡

パンフレットもチェック!

新しく緑化を始める方、どんな緑化がよいか悩んでいる方向けに、ご自宅でのみどりの楽しみ方、ポイント、おすすめ樹種などを紹介しています。パンフレットはリサイクルセンター、みどり推進課(区役所本庁舎18階)などで配布しています。 [区HPはこちら](#)

お問い合わせ先! みどり推進課緑化支援係
☎03-5984-1280
✉MIDORISUISIN09@city.nerima.tokyo.jp

フードドライブの流れ

もうひとつの素朴な疑問、「持ち寄った食品がどのように使われるのかを知りたい」という皆さまからのご要望にお応えて、フードドライブの流れも大公開!

ご提供いただいた食品は練馬区が回収後、受け取りを希望する区内の子ども食堂へ。食材やおみやげとして有効活用していただいています。

- ご家庭で使いきれずに余っている食品があったら
 - お持ちいただける食品
缶詰、インスタント食品・レトルト食品、乾物(乾麺、海藻など)、嗜好品(菓子、コーヒー、お茶など)、調味料
 - お持ちいただく前にチェック!
 未開封で、包装や外装が破損していない
 冷蔵・冷凍・生鮮食品ではない
 賞味期限が明記されていて、期限が2ヵ月以上先である
 瓶詰ではない
 お酒ではない
 ペットフードではない
- リサイクルセンターの窓口へ
賞味期限や状態などを確認し、受け取り
数や重さをチェックし、分類・保管
- 定期的に練馬区が回収
- 受け取りを希望する子ども食堂に引き渡し
- 子ども食堂で活用

ねりま子ども食堂

まちの駅大泉学園(大泉まちなちの子ども食堂)

ねりまのリサイクルINFO

開催時間は10:00～15:00です!

10月は「3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間」です! リサイクルセンターの「3R推進月間イベント」で循環型社会について楽しく学びましょう!

区内4ヵ所にある練馬区立リサイクルセンターでは、10月から11月にかけて「3R推進月間イベント」を開催します。

リサイクルセンターの事業の柱となる3Rについて、楽しく学習できるイベントを通じて、地域の皆さまに理解と協力を求めています。今年も、工作やクイズ、ゲームなど、たくさんの参加体験型企画をご用意しました。ご家族やお友だちとお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

豊玉リサイクルセンター 10/5(日)

大泉リサイクルセンター 10/26(日)

春日町リサイクルセンター 11/9(日)

関町リサイクルセンター 11/16(日)

桜台フードフェスタ2025とコラボ開催/木で作るピンボール台/エコな買物ゲーム/釣りゲームで学ぼうマイルージ/ヒノキの間伐材で作る手作りマイ箸/オーガニックコットンバッグにお絵かき など

リサイクル工作(でんでん太鼓、牛乳パックでボックス、木の楽器リモビル)/音あそびけん玉、お手玉、あはじき、あやとり/海のいきものふれあいコーナー/スタンブラリー/家具・小物販売(半額) など

自然素材の自由工作/捨ててしまふ野菜を使った作品作り ペジパダーアート体験/環境クロスワード/エコ宣言/リサイクル図書市/ステージ発表/お楽しみ抽選会 など

リユース発明! 大型ゲームコーナーで遊ぼう/リデュース! もうレジ袋はもらわない!「ふるしき」の活用方法/脱プラチャレンジ! 3Rでごみを減らす/「地産地消!」パン雑貨カレー販売 など

食品ロス削減や食育についてもっと知りたい! 「第2弾ねりま食べきりキャンペーン」を実施します!

食品ロス削減に取り組んでいる「おいしく完食協力店」および食育に取り組んでいる「ねりまの食育応援店」を対象とした「ねりま食べきりキャンペーン」を実施します。対象店舗を利用し、クイズとアンケートにお答えいただいた方全員に「3R推進月間イベント」会場にて景品をプレゼントします。

キャンペーン期間 令和7年 9月21(日)～11月14(金)

対象店舗は100店舗以上! 対象店舗等イベントの詳細はこちら

クイズとアンケートへの回答は、期間中お一人につき1回まで。

クイズとアンケートに回答した方が「3R推進月間イベント」開催時にリサイクルセンターに来所すると、景品と交換できます。 [開催日時はこちら](#)

お問い合わせ先 清掃リサイクル課清掃事業係 ☎03-5984-1059

地球温暖化の豆知識

「もったいない」だけじゃないー食品ロスと地球温暖化ー

日本の令和5(2023)年度の食品ロス量の推計は464万トン*1となっており、このうち、50%の233万トンが家庭での食べ残し、過剰除去(野菜や果物の皮を厚くむきすぎたり、食べられる部分まで捨ててしまうこと)、賞味期限切れなどから発生しています。

また、食品ロス464万トンの製造・輸送・販売などの過程で排出された二酸化炭素排出量は1,050万トン*2であり、杉の木が1年間に吸収する二酸化炭素の量*3に換算すると約11億9,000万本分に相当します。

フードドライブも大切な取り組みですが、食材の買いすぎに注意する、食事を作るときは捨てる部分をできるだけ少なくする、残さず食べる、賞味期限(おいしく食べられる期限)と消費期限(安全に食べられる期限)を知るなど、私たち一人ひとりの心がけで、食品ロスを減らすことができます。食べられるものは捨てない。それが地球温暖化対策につながります。

食品ロスの生産にかかるCO2量 1,050万トン

杉が1年間に吸収するCO2量 約11億9,000万本分

製造 輸送 販売 食品ロス 吸収

*1 我が国の食品ロスの発生量の推計値(令和5年度)(環境省)
*2 令和5年度「食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の推計結果」(消費者庁)
*3 杉1本のCO2吸収量8.8トンに換算(林野庁HP)

